

真鶴町森林整備計画ゾーニング図

		ゾーニングの種類	施業種
公益的 機能別 施業森 林の実 施基準を 適用する 区域		水源の涵養の機能の維持増進を図るための森林施業を推進すべき森林	B
		土地に関する災害の防止及び土壌の保全の機能の維持増進を図るための森林施業を推進すべき森林	C
		快適な環境の形成の機能の維持増進を図るための森林施業を推進すべき森林	C
		保健文化機能の維持増進を図るための森林施業を推進すべき森林(生物多様性を含む)	D
		木材の生産機能の維持増進を図るための森林施業を推進すべき森林	A

	現況・将来林型	施業種 (誘導の方法)	具体的な基準
A	育単→育単 天生→天生	通常皆伐  皆伐	<ul style="list-style-type: none"> 標準伐期齢 皆伐20ha以下
B	育単→育単 天生→天生	伐期の延長  皆伐+10	<ul style="list-style-type: none"> 標準伐期齢+10 皆伐20ha以下
C	育単→育単 天生→天生	長伐期施業  皆伐・長	<ul style="list-style-type: none"> 標準伐期齢×2 皆伐20ha以下
D	育単→育複 育複→育複 天生→育複	複層林施業  複	<ul style="list-style-type: none"> 伐採率：70%以下 維持材積5割以上
		択伐による複層林施業  複択	<ul style="list-style-type: none"> 択伐率：30%以下 維持材積7割以上(ただし、人工植栽による場合は、) 択伐率：40%以下 立木材積Ry0.75以上で伐採後材積Ry0.65以下)

凡例	
	市町村界
	林班
	高速道路
	主要道路
	道路等
	主要鉄道
	等高線
	水部

